

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.195

2024年6月期 調査



<調査要項>

・調査時点	2024年	6月上旬
・調査対象期間	2024年	4-6月実施
	2024年	7-9月見通し
・調査対象企業	当金庫取引先	450社
	有効回答数	446社 (有効回答率99.1%)
・業種別企業数	製造業	136社、卸売業 68社
	小売業	91社、運輸・サービス業 57社
	建設業	67社、不動産業 27社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査	

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。
各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

4－6月の概況

●当金庫取引先の景況感は前期より改善

当金庫取引先の2024年4-6月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の19.1%で前期（2024年1-3月期12.0%）から+7.1ポイント、「悪い」は22.0%で前期（同22.7%）から▲0.7ポイント。全業種総合の業況判断DIは、前期▲11から+8ポイントの▲3となった。

業種別で見ると、製造業の業況判断DIは、前期▲13から+16ポイントの+3、非製造業の業況判断DIは、前期▲10から+5ポイントの▲5となった。

●来期は小幅悪化の見通し

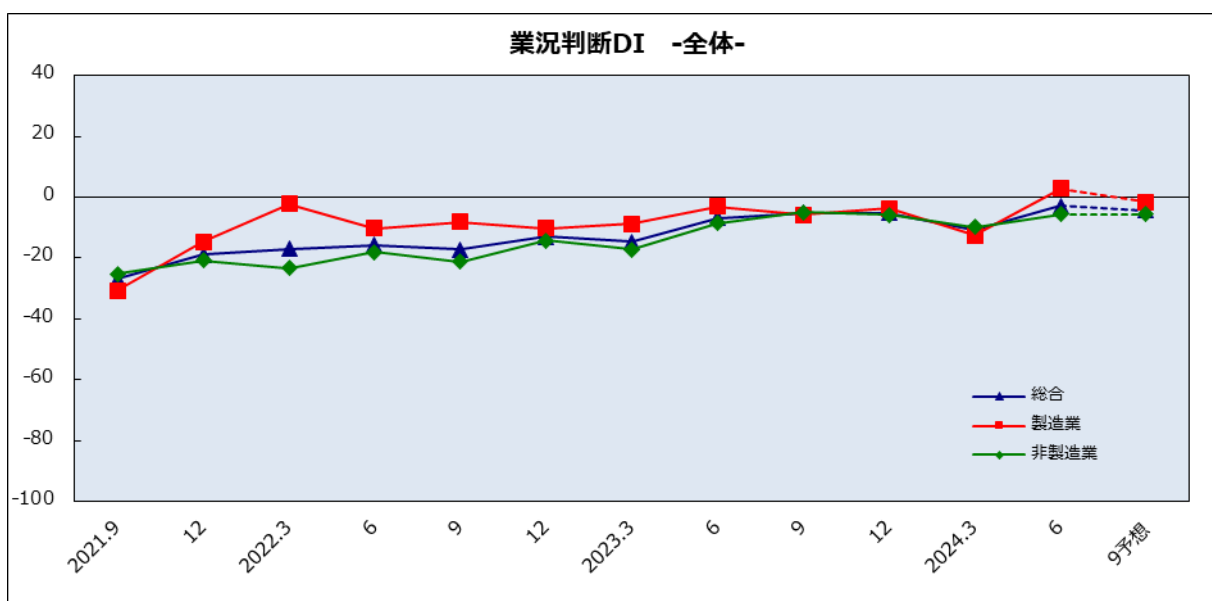
来期（2024年7-9月期）の全業種総合の予想業況判断DIは、今期▲3から▲1ポイントの▲4となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断DIは今期+3から▲4ポイントの▲1、非製造業は今期▲5から横這いとなる見通しである。

■最近の業況判断DIの推移

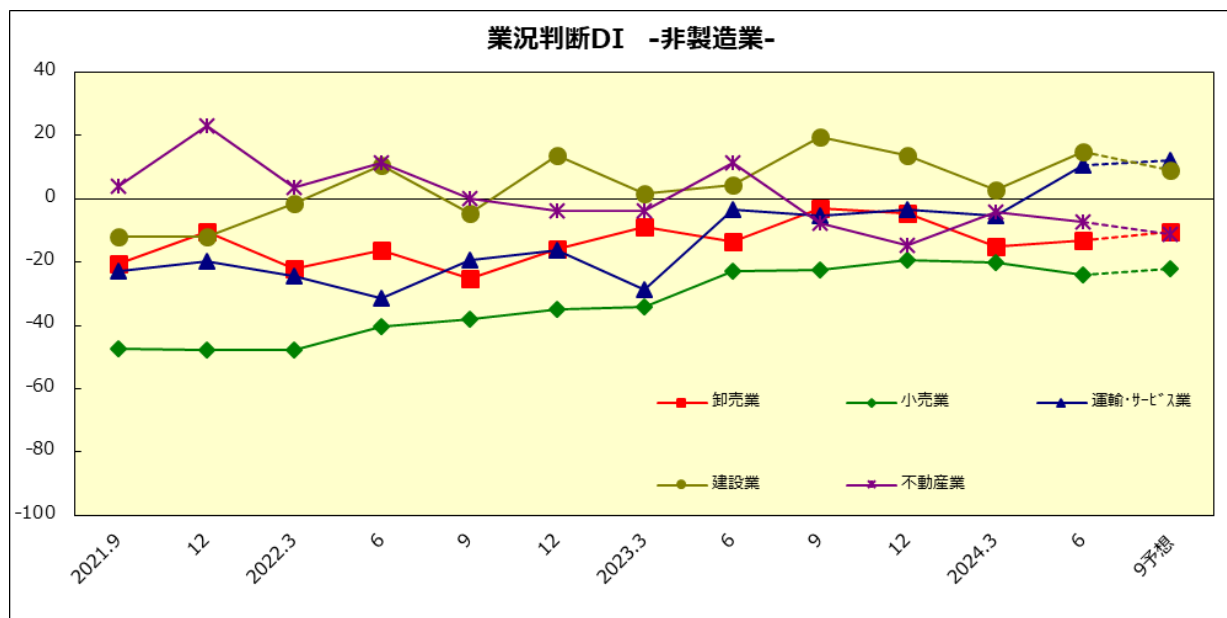
・業況判断DI（総合）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
総合 (446社)		-7 (↗)	-5 (↗)	-5 (→)	-11 (↘)	-3 (↗)	-4 (↘)
製造業 (136社)		-3 (↗)	-6 (↘)	-4 (↗)	-13 (↘)	3 (↗)	-1 (↘)
非製造業 (310社)		-8 (↗)	-5 (↗)	-6 (↘)	-10 (↘)	-5 (↗)	-5 (→)

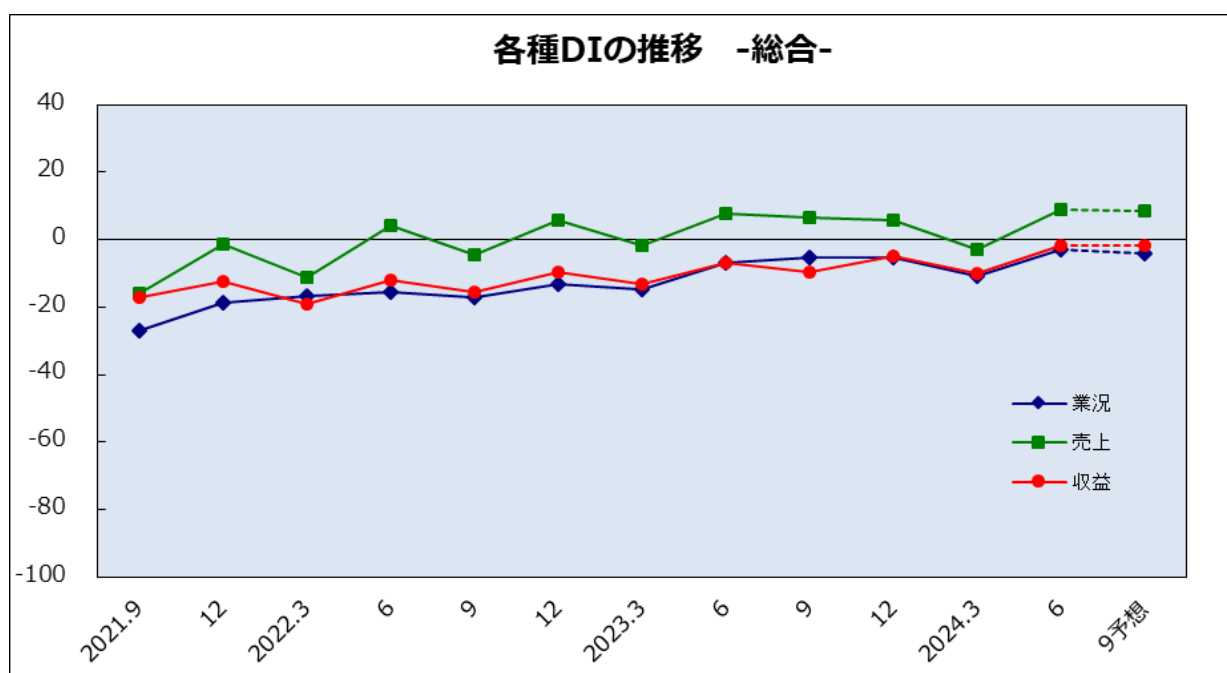


・業況判断 DI（非製造業）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
卸売業（68社）		-13（↓）	-3（↑）	-4（↓）	-15（↓）	-13（↑）	-10（↑）
小売業（91社）		-23（↑）	-23（→）	-19（↑）	-20（↓）	-24（↓）	-22（↑）
運輸・サービス業（57社）		-4（↑）	-5（↓）	-4（↑）	-5（↓）	11（↑）	12（↑）
建設業（67社）		5（↑）	19（↑）	14（↓）	3（↓）	15（↑）	9（↓）
不動産業（27社）		12（↑）	-8（↓）	-15（↓）	-4（↑）	-7（↓）	-11（↓）



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から大幅に改善

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の 25.0%で前期 (15.6%) から+9.4 ポイント、「悪い」は 22.1%で前期 (28.1%) から▲6.0 ポイント。業況判断 DI は前期▲13 から+16 ポイントの +3 となり、前期から大幅に改善した。

来期は、輸送用機械器具など 2 業種で改善、電気機械器具など 12 業種で横這い、金属製品など 7 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期+3 から▲4 ポイントの▲1 と悪化する見通しである。

●今期は 21 業種中、12 業種で改善、3 業種で悪化

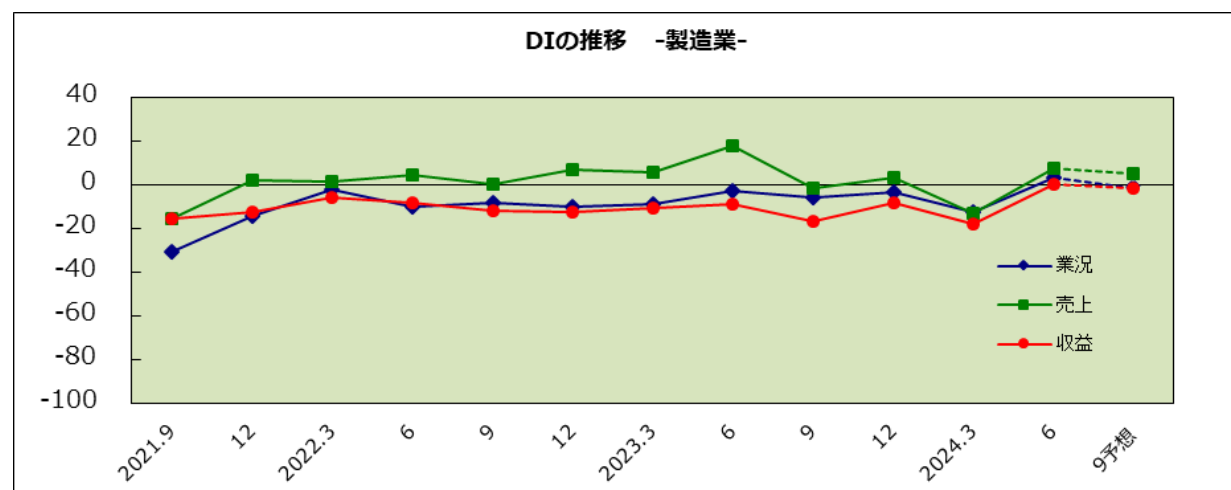
金属製品など 12 業種で改善、輸送用機械器具など 3 業種で悪化

21 業種中…業況改善 12 業種 / 業況横這 6 業種 / 業況悪化 3 業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
金属製品	(19社)	-5 (↗)	-25 (↘)	-41 (↘)	-42 (↘)	-26 (↗)	-32 (↘)
一般機械器具	(17社)	-6 (↘)	0 (↗)	-6 (↘)	-12 (↘)	12 (↗)	6 (↘)
輸送用機械器具	(13社)	27 (↗)	0 (↘)	18 (↗)	-9 (↘)	-27 (↘)	-18 (↗)
食料品	(11社)	-14 (↗)	-14 (→)	-7 (↗)	-7 (→)	23 (↗)	8 (↘)
電気機械器具	(8社)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)	-13 (↗)	0 (↗)	0 (→)
皮革製品	(8社)	50 (↗)	50 (→)	50 (→)	-13 (↘)	50 (↗)	38 (↘)
プレス・メッキ	(7社)	-29 (↘)	-14 (↗)	-14 (→)	-14 (→)	14 (↗)	14 (→)
窯業・土石	(5社)	-20 (↗)	40 (↗)	40 (→)	40 (→)	60 (↗)	60 (→)
出版・印刷	(6社)	0 (↗)	-33 (↘)	20 (↗)	20 (→)	-17 (↘)	-17 (→)
繊維製品 (靴下)	(5社)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	20 (↗)	0 (↘)
建築用金属製品	(7社)	0 (↗)	-29 (↘)	13 (↗)	0 (↘)	-14 (↘)	-14 (→)

調査員のコメント

- ・円安の影響が大きい為、仕入れを抑制し、在庫の活用、減少させ利幅を確保していく方針。(皮革)
- ・今秋、事業再構築補助金を活用した大型設備導入予定で、大口受注を見込んでいる。(金属製品)
- ・AI を活用した設備導入により業務が効率化され増収増益傾向にある。(電気機械器具)



●前期から小幅改善

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 10.3%で前期 (3.0%) から+7.3 ポイント、「悪い」は 23.5%で前期 (17.9%) から+5.6 ポイント。業況判断 DI は前期 ▲15 から+2 ポイントの ▲13 となり、前期から小幅改善した。

来期は農畜産物・水産物などの 2 業種で改善、建築材料など 5 業種で横這い、機械器具など 2 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期 ▲13 から+3 ポイントの ▲10 と改善となる見通しである。

●今期は 9 業種中、4 業種で改善、2 業種で悪化

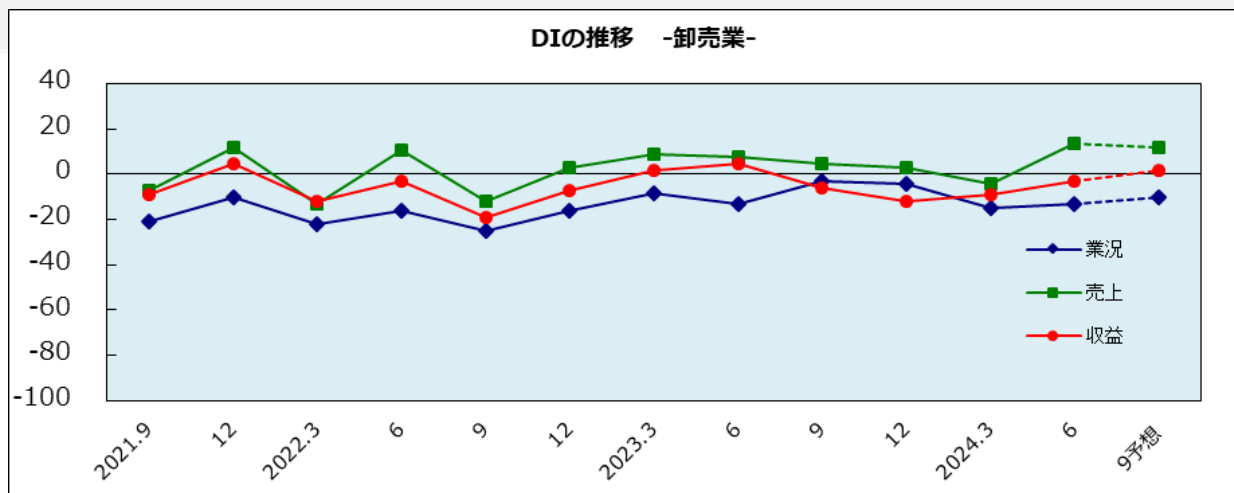
機械器具、建築材料など 4 業種で改善、飲食料品、衣服身回品など 2 業種で悪化した。

9 業種中・・・業況改善 4 業種 / 業況横這 3 業種 / 業況悪化 2 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
機械器具 (17社)		-11 (↓)	16 (↑)	16 (→)	-11 (→)	0 (↑)	-6 (↓)
建築材料 (10社)		0 (→)	11 (↑)	11 (→)	-22 (→)	-20 (↑)	-20 (→)
農畜産物・水産物 (10社)		-50 (↑)	-40 (↑)	-27 (↑)	-40 (→)	-30 (↑)	-20 (↑)
飲食料品 (9社)		-22 (↓)	0 (↑)	-29 (↓)	-13 (→)	-33 (↓)	0 (↑)
金属材料 (6社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-17 (→)	0 (↑)	0 (→)
化学製品 (3社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-33 (↓)
衣服身回品 (3社)		-33 (↑)	-50 (↓)	-33 (↑)	0 (→)	-33 (↓)	-33 (→)
家具建具じゅう器 (1社)		0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
再生資源 (2社)		50 (↑)	0 (↓)	0 (→)	50 (→)	50 (→)	50 (→)
その他 (7社)		0 (→)	0 (→)	-14 (↓)	-17 (↓)	-14 (↑)	-14 (→)

調査員のコメント

- ・業種柄、天候により穀物収穫量は大きく変動するため、仕入ルート確保に日々、情報を集めている。(農畜産物・水産物卸)
- ・燃料高の影響もあり小ロットの配送は赤字であるが、対応しなければ顧客離れとなるため、他の経費を見直すなど利益確保に向け模索中。(機械器具)
- ・特殊な知識の保有者が定年退職予定で人材教育が急務。(機械部品)



小 売 業 91 社

●前期から小幅悪化

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 12.1%で前期(8.9%)から+3.2 ポイント、「悪い」は 36.3%で前期(28.9%)から+7.4 ポイント。業況判断 DI は前期▲20 から▲4 ポイントの ▲24 となり小幅悪化した。

来期は衣服身回品などの 3 業種で改善、自動車など 3 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲24 から+2 ポイントの▲22 と小幅改善する見通しである。

●今期は 12 業種中、3 業種で改善、5 業種で悪化

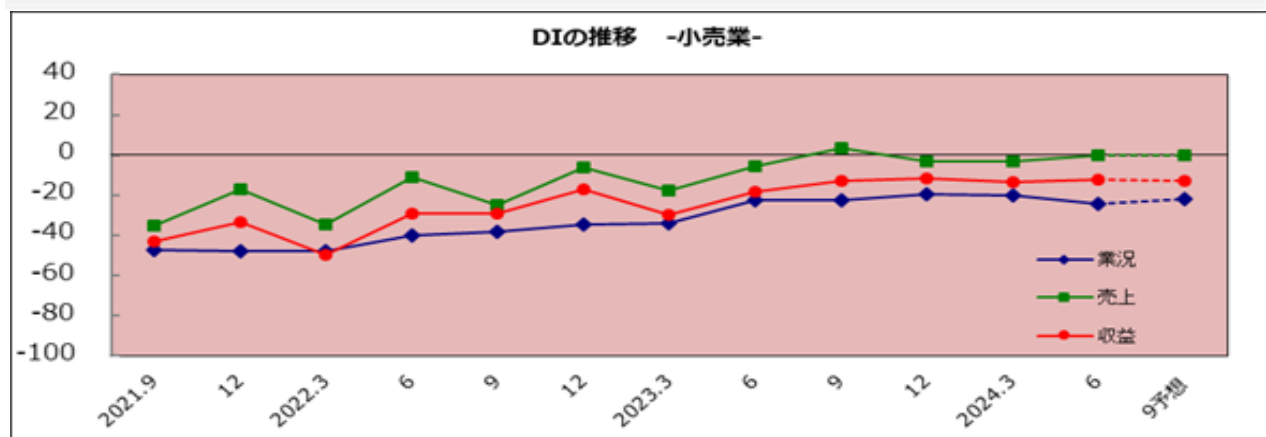
飲食料品、自動車など 3 業種で改善、衣服身回品など 5 業種で悪化した。

12 業種中…業況改善 3 業種 / 業況横這 4 業種 / 業況悪化 5 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
飲食料品 (22社)		-33 (↗)	-32 (↗)	-29 (↗)	-21 (→)	-14 (↗)	-14 (→)
衣服身回品 (15社)		-47 (↗)	-56 (↘)	-38 (↗)	-40 (→)	-53 (↘)	-47 (↗)
飲食店 (11社)		-10 (↗)	-9 (↗)	0 (↗)	9 (→)	-9 (↘)	9 (↗)
ガソリン (6社)		-33 (↘)	-40 (↘)	-17 (↗)	-17 (→)	-67 (↘)	-33 (↗)
自動車 (9社)		0 (↗)	0 (→)	-11 (↘)	-11 (→)	11 (↗)	0 (↘)
スーパー・コンビニ (9社)		10 (↘)	0 (↘)	11 (↗)	-22 (→)	-33 (↘)	-44 (↘)
書籍・文具 (3社)		0 (→)	-33 (↘)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
家電機器 (3社)		-50 (↘)	25 (↗)	0 (↘)	50 (→)	33 (↘)	0 (↘)
医薬品・化粧品 (3社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品 (2社)		-50 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
時計・眼鏡 (2社)		-50 (↗)	-50 (→)	-100 (↘)	-100 (→)	-50 (↗)	-50 (→)
木材建築材料 (1社)		-100 (→)	0 (↗)	0 (→)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)
その他 (1社)		-75 (→)	20 (↗)	0 (↘)	-20 (↘)	-25 (↘)	-25 (→)

調査員のコメント

- ・インバウンド客の取り込みができており売上増加中。今後も営業努力により売上増加を維持したい。(飲食料品)
- ・売上の2週間未満程度の現預金保有するも、小麦など原材料費増加傾向にあり、仕入先の見直しなどが必要となっている。(飲食店)
- ・エアコン入替時期につき増収が期待できる反面、仕入価格は上昇傾向にあり、同業者との価格競争で利幅縮小となる見込み。(家電機器)



●前期から大幅改善

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 21.1%で前期(14.3%)から+6.8ポイント、「悪い」は 10.5%で前期(19.6%)から▲9.1ポイント。業況判断 DI は前期▲5 から+16ポイントの+11となり、前期から大幅改善した。

来期は自動車整備・駐車場など 3 業種で改善、運輸業などの 2 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期+11 から+1ポイントの+12と小幅改善する見通しである。

●今期は 7 業種中、5 業種で改善、1 業種で悪化

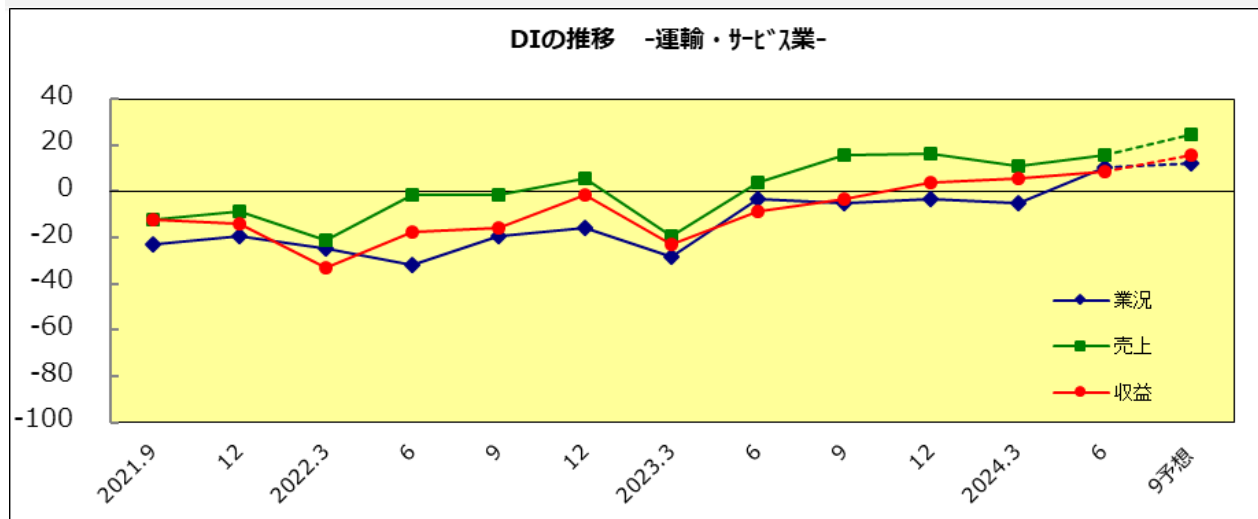
運輸業、自動車整備・駐車場など 5 業種で改善、修理業の 1 業種で悪化した。

7 業種中・・・業況改善 5 業種 / 業況横這 1 業種 / 業況悪化 1 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
運輸業 (13社)		-8 (↑)	0 (↑)	29 (↑)	14 (→)	31 (↑)	23 (↓)
自動車整備・駐車場 (10社)		10 (↑)	0 (↓)	-11 (↓)	-10 (→)	0 (↑)	10 (↑)
クリーニング・理容・美容 (7社)		14 (↑)	29 (↑)	-29 (↓)	-14 (→)	29 (↑)	14 (↓)
修理業 (3社)		-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	0 (→)	-33 (↓)	0 (↑)
情報サービス・調査・広告 (4社)		-25 (↑)	-50 (↓)	-25 (↑)	-25 (→)	0 (↑)	0 (→)
物品賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (→)	0 (↑)	50 (↑)
旅館宿泊所 (2社)		0 (↑)	0 (→)	0 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
その他 (2社)		-19 (↓)	-7 (↑)	-13 (↓)	-6 (↑)	0 (↑)	0 (→)

調査員のコメント

- ・ペーパーレス化、モノタロウ等大手企業の台頭により売上伸び悩んでおり、他社との差別化を図ったサービスをしていかなければ生き残れない。
(情報サービス・調査・広告)
- ・外国人観光客の顧客も多く、災害が発生すると売上に影響が出てくる為、本業に代わる別の事業を検討中。
(運輸業)
- ・現状、新型コロナの影響回復傾向にあり、「GO タクシー」等アプリの普及により売上順調に増加中。
(運輸業)



●前期から大幅改善

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の25.4%で前期(17.9%)から+7.5ポイント、「悪い」は10.4%で前期(14.9%)から▲4.5ポイント。業況判断DIは前期+3から+12ポイントの+15となり、前期から大幅改善した。

来期は、職別工事で改善、総合工事、設備工事で悪化、と予想しており、予想業況判断DIは、今期+15から▲6ポイントの+9と悪化する見通しである。

●今期は3業種中、全ての業種で改善

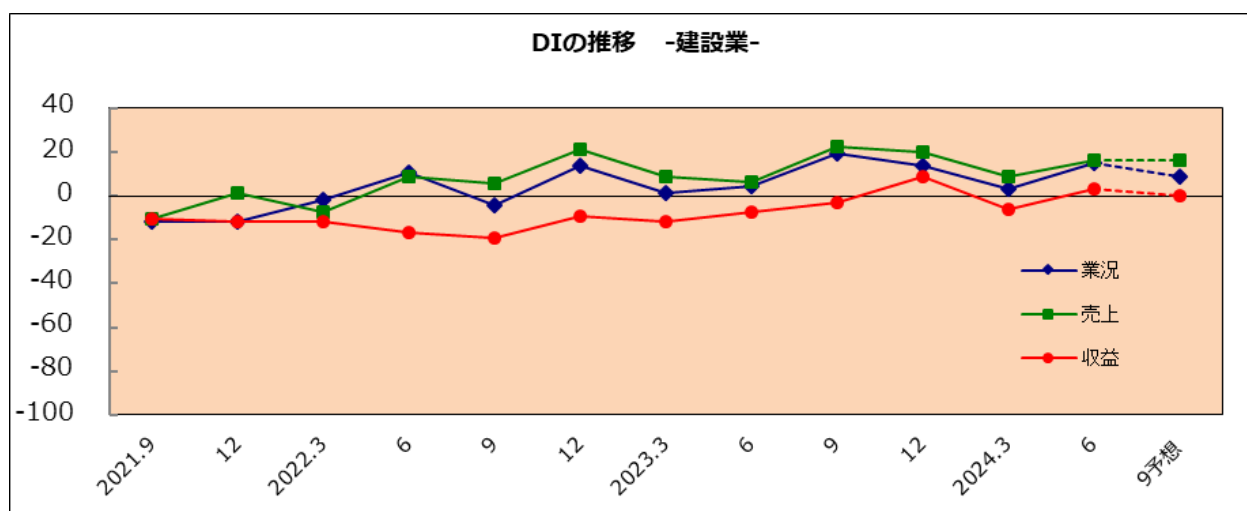
総合工事、職別工事、設備工事の全ての業種で改善した。

3業種中・・・業況改善 3業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 0業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
総合工事 (34社)		-6 (→)	13 (↑)	9 (↓)	0 (→)	12 (↑)	0 (↓)
職別工事 (19社)		20 (↑)	33 (↑)	16 (↓)	5 (→)	21 (↑)	32 (↑)
設備工事 (14社)		8 (↑)	13 (↑)	20 (↑)	7 (→)	14 (↑)	0 (↓)

調査員のコメント

- ・人手不足が続く中、時間外労働の上限規制が適用され、少ない人数でこれまで以上に業務負担が増えるリスクを懸念している。(総合工事)
- ・人手不足要因で外注依存度が上がり利益率低下傾向。早急な価格転嫁の見直しが必要な状態。(職別工事)
- ・M&Aにより経営者が変わるも、主販売者との関係性は強固に保たれている。大阪万博に向けた受注も確保。(設備工事)



不動産業 27社

●前期から悪化

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の14.8%で前期(8.0%)から+6.8ポイント、「悪い」は22.2%で前期(12.0%)から+10.2ポイント。業況判断DIは前期▲4から▲3ポイントの▲7となり、前期から悪化した。

来期は、不動産代理・仲介など3業種で横這い、建売・土地売買で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲7から▲4の▲11と悪化する見通しである。

●今期は4業種中、1業種で改善、2業種で悪化

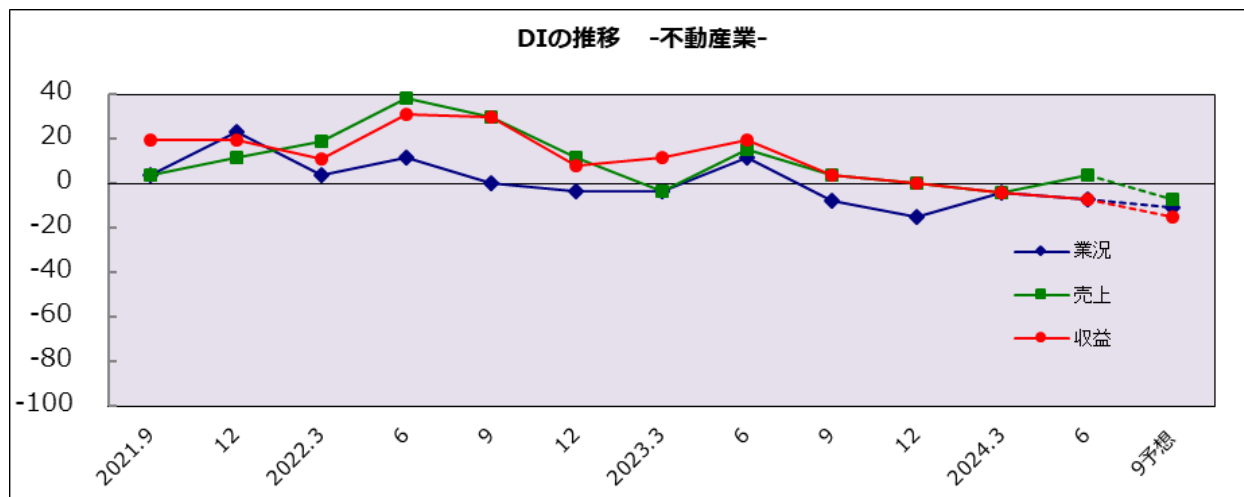
建売・土地売買の1業種で改善、不動産代理・仲介、貸家・貸間の2業種で悪化

4業種中・・・業況改善1業種 / 業況横這い1業種 / 業況悪化2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期
建売・土地売買 (11社)		8 (↗)	-8 (↘)	-17 (↘)	-7 (→)	9 (↗)	0 (↘)
不動産代理・仲介 (10社)		13 (↗)	-13 (↘)	-20 (↘)	-17 (→)	-30 (↘)	-30 (→)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (2社)		100 (↗)	0 (↘)	0 (→)	100 (→)	50 (↘)	50 (→)
その他 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・収益物件、駐車場等の老朽化にリフォームが必要であるが、資金を投入して回収できるか、判断は慎重にしたい。(貸事務所・土地賃貸)
- ・2~4月にかけては商品物件の販売が好調、6月以降は金利上昇が影響しており、業況は鈍化している。(不動産代理・仲介業)
- ・不動産価格、建築費用の増加により、分譲では採算が取れなくなっており、賃貸業による安定した賃貸収入により業況安定を確保している。(建売・土地売買業)



~MEMO~